

アゴラ通信 No.259

2016年 9月

〒631-0812 奈良市秋篠早月町 10-10-408

TEL/FAX 0742-93-3485

URL/ <http://www1.kecn.ne.jp/~agora/>

↑アゴラ通信バックナンバーは上記 HP でご覧下さい。

認定 NPO 法人アゴラ音楽クラブ

URL/ <http://www.agora-mc.com/>

 <http://www.facebook.com/agoramusicclub>

芸術の秋です♪

数年前のアゴラ音楽クラブのコンサート DVD を見ると、今のメンバーたち演奏はもとより顔つきもしっかりしてきたなあ、と感じます。歩みはゆっくりでも継続は力なり。

1年間の練習の成果、9月3日（土）14：00よりやまと郡山城ホール小ホールにて発表します。
ご来場お待ちしております。



アゴラ通信 259 号の CONTENTS

- ・ ツーリーの
続「こんな台湾を知っていますか？」 (61)
- ・ インドネシアよもやま話 (5)
- ・ パソコンであんなことこんなこと (76)
- ・ チョイ悪親父のボランティア日記 (28)
～ 出会いがあり、そして一区切り ～
- ・ アレルギーの診察室から (61)
～ありがとう～
- ・ ドイツだより (120)
- ・ あとがき



認定NPO法人 アゴラ音楽クラブ
第14回
秋のコンサート
入場無料

9/3(土) 13:30 開場 14:00 開演
やまと郡山城ホール (小ホール)

後援
NHK 厚生文化事業団近畿支局
奈良市教育委員会・大和郡山市教育委員会・生駒市教育委員会
社会福祉法人あゆみの会・社会福祉法人再業仁会
社会福祉法人いこま福祉会・社会福祉法人こぶしの会
社会福祉法人だるまの会・NPO 法人きらの木
NPO 法人大空の家

コンサートに関するお問い合わせは 090-3941-6892 まで

ツリーの

続「こんな台湾を知っていますか？」⑥1

並木由香

低頭族さらに急増！

前回ご紹介した台湾の低頭族ですが、この夏、爆発的に急増しました。原因は、やはり、あのポケモンGOです。台湾では8月6日に漸く配信が開始されましたので、夏休み中の子供が熱中するのは勿論ですが、見たところ、どうやら一緒にいる保護者の方が夢中になってしまっている様子です。涼しく過ごせる百貨店やショッピングモールは、一日中どこも親子連れで賑わっていますが、モンスター捕獲に夢中になるあまり、自分の後ろに他の人がいることも忘れ、エスカレーターを登り切った所で親子並んで立ち止まって道を塞いでしまい、後ろから自動的に上がってくる人が次々ぶつかる、という光景も珍しくありません。

また、深夜にもかかわらず、街燈がちらほらしかない暗い公園に、よく見ると沢山の人影がウロウロ、皆うつむいてヌボーツと立っています。まるでゾンビの集会の様で、ちょっと気味が悪いです。確かに昼間は、最高気温が30度でも体感温度は39度くらいになりますから、公園で長時間過ごすのは無理なので、日が落ちて涼くなった夜中に、こうしてモンスター捕獲に集まってくるのでしょうか。保護者同伴とはいえ、とっくにお子様はお休みの時間なのですが。

台北の名湯、北投温泉にある公園では、レアキャラクターが出現したらしいとの噂に、夜中に1000人以上が集まる騒ぎになり大混乱になりました。その上、わざわざバイクや自動車で出かけてきては、所構わず車を乗り捨てるので、あたり一帯が違法駐車車両だらけで、大変な交通渋滞になり、警察が出動して取り締まる事態にまで至ったそうです。当然、バイクに乗って捕獲しようとする輩もいて、ポケモンを捕まえるはずが、自分が警察に捕まる、というお粗末な結果に。

大人がゲームに夢中になると、子供よりも性質が悪いようですね。低頭族の皆さん、くれぐれも程々に。

ホームセンターで…

台湾のあるホームセンターをぶらぶら見て回った時に、ごく普通のある品物が、不思議な感じで販売されているのが目に留まりました。それが右の写真の扇風機の羽と枠です。私は今まで扇風機の部品が店頭で展示されて販売されているのを見たことがなくて、部品は電気屋さんをお願いして、わざわざメーカーから取り寄せてもらって購入するものだと思っていました。それが、台湾の町のホームセンターでは、羽の大きさも各種取り揃えて売っています。メーカーの区別なしに売られている所を見ると、台湾の扇風機の羽は全社共通だということかもしれません。それにしても、扇風機の羽なんて、そう簡単に代えが必要だとも思えないのですが、台湾ではそんなに需要があるのでしょうか？



「あったらいいなあ～」を形にしたら…

「こんなものがあったらいいのになあ～」と思う物、誰も一つや二つありますよね。私は、大学生の頃からずっと、自動譜めくり機があったらなあ、と思っていました。何でもかんでも全て記憶できたら良いのですが、私の頭脳で

はそういうわけにもいかず、楽譜を頼りにピアノを演奏する事も多々あります。その上、他の人に譜めくりしてもらうのは、どうも居心地が悪くて苦手なのです。ですから、自分で譜めくりするしかないのですが、そんな時、一番頭を悩ませるのが、どのタイミングで譜めくりするか、ということです。めくりたい所の左右どちらかの手に休符があるとめくりことができますが、数ページにわたってそのタイミングがない場合は、楽譜をコピーして帯のように長く並べるしかなく、色々面倒です。

現在は、まだ発売には至っていませんが、本のように開くと2画面になり、楽譜が表示できるタブレットが開発されているようで、タブレットのボタンを押すと、次の見開き2ページの楽譜が表示されるそうです。私の譜めくり問題を解決してくれる段階までは、まだ少しかかりそうですが、あったらいいなあ～は、いずれ実在のものになるものなのだと思います。

さて、雨の日、畳んだ傘の水滴が、満員電車に乗っても自分や周囲の人につかない、或いは車のシートを濡らさない、そんな傘、あると便利ですよ。それは、すでに10年ほど前にご紹介したことがあると思います。傘の先端部分にプラスチックの蛇腹が付いていて、それを柄の方へ引き上げると、傘の濡れた布をカバーできるという商品でした。では、長い傘を持って出かけた先に傘立てが無くて、適当なところに傘を立て掛けてもすぐに倒れてしまったり、机や椅子にひっかけてもうまくいかなかったり、どうにも傘の置き場所に困ったこと、ありませんか？畳んだ傘の水滴が服を濡らさず、尚且つ置き場所に困らない、そんな傘があったらいいなあ、と思いますよね。そのあったらいいなあが、ありました。



この傘は、外側が黒の格子柄、内側が青の布です。

傘を閉じる時、普通の傘は傘の骨が内側、濡れた布が外側になりますが、この傘は傘の骨が外側、濡れた布が内側になるように閉じます。ですから外側になる傘の骨が見えないように、傘の骨を二枚の布で挟むようにしてあります。閉じたときに表になるのは傘の骨の内側の布なので、濡れていない面になります。また、傘を閉じると傘お化けのような格好になりますが、普通の傘のように先端が尖っておらず、平らになっているので、地面さえ平らであれば傘本体が自立します。傘が自立するというのは、今までにない進化した傘ではないでしょうか。この傘は、近頃台湾ではかなり一般的になってきている様で、よく見かけます。夏の台湾は雨が多いですので、台湾旅行には傘を持参せず、現地でこの傘を買って、使った後は日本に持って帰る、というのは如何でしょうか。では、今回はこの辺で再見！！

インドネシアよもやま話

サポート 21・なら
馬郡 繁

第5回 インドネシアの食事情 その2

私は根っからの食いしん坊なので「食」のテーマが1回では収まらず、2回になってしまいました。

①トロピカルフルーツ

南国に駐在していて良かった事のひとつに、果物好きの私にとって、おいしいトロピカルフルーツが、いつでも好きだけ食べられたことです。スミさんには果物は切らさないように頼んでおきました。地場の市場に行ってくれるので、安く新鮮なフルーツがいつも食べられました。四季のない、インドネシアですが、果物にはシーズンがあります。果物で季節を知る様な感覚です。写真は、大好物のひとつのマンゴーです。日本で買えば高いですが、現地では数十円です。これをスミさんが上手にむいてくれます。実をひっくり返して、さいの目に、まるでメニューの見本の様に食べやすくカットしてくれます。デザートに2個くらい食べていました。



写真は日本で余り見かけない「ランブータン」です。中は「ライチ」に似ています。こんな感じで市場に出ています。他に果物の女王と言われる「マンゴスチン」や日本でもおなじみの「パイア」や「スターフルーツ」や名前の知らない沢山の果物がありました。スイカもありますが、日本の様に甘くありません。バナナはそこら中に自生しており、ひと房が20-30円程度で買えます。ゴルフの最中に、子供のバナナ売りからひと房買って、キャディー達と良く食べたものです。

果物の女王が出たら、果物の王様の「ドリアン」は外せません。インドネシアでも、比較的高級な部類に入ります。しかし、これほど好き嫌いが分かれる果物もないかと思えます。トゲのある皮を剥くと、強烈な腐敗臭の様なにおいがします。この為、ホテルや飛行機などには持ち込めません。スミさんも、これだけはダメな様で、ドリアンだけは自分で買っていました。さすがに、ひとりで1個は食べられないので、カットしたものを買います。お酒を飲んで食べると胃の中で反応して大変危険だと言われています。



②駐在員の外食事情

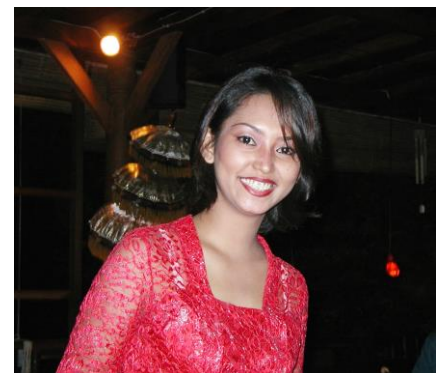
私たち駐在員が外食をする機会は、大きく分けて二つです。ひとつは、駐在員同士での、懇親会や情報交換など。大抵は、居酒屋などで、食事を兼ねた飲み会になります。もうひとつは、日本からの出張者などとの食事会などです。使う店は 3 ランク位にランク分けて、使い分けていました。日本からの社長や役員クラスには、最上級の店を、幹部クラスにはその次、一般社員の場合は、普通の店といった具合です。やはり、一番気を使うのは、役員クラスの視察の時です。食事の好みなどを前もって本社の秘書から聞いておきます。どこへ行っても日本食しか食べない人、その反対に、現地の料理しか食べないひとなど様々です。これを間違えると大変な事になってしまいます。仕事の話が出るので、大抵は、ホテルの中のレストランの個室を使うのが無難な選択となります。また、ジャカルタに役員が来るときは、大抵、近隣諸国を巡訪されるので、前日訪問した拠点長と連絡を取り合い、前日の食事とかぶらない様な気配りも必要となります。(以前、東南アジア巡訪の専務が 3 日続けて、中華料理でさすがに、3 日目は機嫌が悪かったと聞いたことがありました。)

ジャカルタでは、世界各地の食事を摂る事が出来ます。以前も書きましたが、当時、ジャカルタに駐在している外国人でもっとも多いのが韓国人でした。サムギョブサルなどの本場の韓国焼き肉の店が沢山ありました。韓国系の焼肉はぶた肉がおいしく、牛肉はやはり、日系の焼き肉屋さんがおいしいです。おもしろいのは、焼き肉では、各テーブルに専属の焼係の人(大抵は若い女の子が。運が悪いと、たまにおばさんに当たります)が付いてくれます。焼きあがると各自の取り皿に取り分けてくれます。私たちは、ひたすら食べる事と、飲むことに専念できるのです。キムチも本場のものと同じものが食べられます。



その他に、よく行ったのがタイ料理の店です。「タイシャブ」

と私たちは呼んでいましたが、タイ式のしゃぶしゃぶです。肉や野菜、魚介類などを大きな鍋で、スープで煮たものをチリソースなどで食べます。辛さはスープで薄めながら調節します。出張者を良く連れて行きました。理由は、加熱して食べるのでおなかをこわしにくいからです。鍋なので、しめはおじやかラーメンですが、このあたりは、日本人が教えた様です。「タイシャブ」も焼肉と同じように、テーブルにひとり専属で、サービスしてくれる女性が付いてくれます。運が良いと、写真の様な美人が付いてくれる時もあります。こんな時は、男同士でも話がはずみ、思わずチップをはずんでしまいます。



また、本格的な中華料理店も沢山ありました。これは、在住の華僑の影響です。シンガポールに本店のある、「クリスタルジェードパレス」のジャカルタ店もありました。さすがに、ディナーは高くてもったに行きませんでした。お昼の飲茶にはゴルフの後によく行きました。本場の飲茶が楽しめました。日本にいる時には、行ったことがなかったのですが、すっかりハマりました。その他、イタリアンやフレンチのお店もたくさんありましたが、たまにピザを食べに行くくらいで、私は、根っからのアジア大好き人間なので、ほとんど行く事はありませんでした。 つづく

パソコンであんなこと、こんなこと

 ハロー! パソコン教室 小林 俊彦

皆さん、こんにちは。ハロー! パソコン教室 富雄校の小林です。暦の上ではもう秋ですが、まだまだ暑い日が続きますね。関東から北海道にかけては、今月は台風が続けざまに襲い大きな被害が出ているようです。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。まだ台風10号がもう一度本州に上陸する可能性もあるそうですので、十分に準備しておきたいです。

ところで8月24日には楽しみにしていたシルク・ドゥ・ソレイユのトーテムを観に行ってきました! 前回のオーボもすごく良かったのですが、今回のトーテムはそれを超えるパーフォーマーの凄い演技で、たまたま私の後ろの席に座っていた外人さんのグループは、最後の方は「ブラボー」の絶叫状態でした。私も終わって見たら拍手のし過ぎで掌が痛いくらいでした! ともかく息をつく暇のないくらいの大迫力で、そして「ええ〜っ! あんなことできるの!」と思うような演技の連続でした。もしご興味のある方は、観に行かれる価値は十分あると思います!



写真はABCのホームページより引用

トーテムに行く途中、JRの福島駅からABCの本社方向に歩いていると、ABCの三代澤アナウンサーにお会いしました。ラジオの「ドッキリハッキリ三代澤康司です」のメインパーソナリティで、テレビでも登場していますので、ご存知の方も多いかもしれませんね。さすがABCの地元です。実は三代澤君と私は高校1~2年の同級生。よく一緒にギターを弾いたりして、結構仲良くしていました。三代澤君も歩いてくる途中で私に気が付いて「よう似た奴やな。そやけどこんなところで会うはずないし・・・」と思っていたそうです。駅近の混んだ歩道でしたのでゆっくり話せませんでした。元気そうで何よりでした。やはり高校時代の仲間に合うととてもうれしいですね。

今年から山の日の休日ができたので、今年の教室のお盆休みはいつもより長くとらせてもらいました。そしてこの休みの間に、以前からやりたかった教室の床の大掃除を行いました。うちの教室の床は元々フローリングのきれいなものだったのですが、パソコン用のLANケーブルや各ブースの呼び出しボタン用のケーブルを這わせるために、フローリング素材に見えるようなソフトマットを床一面に貼っていました。でもさすがに10年以上使い続けると傷みが激しくなって、補修ができない程度になってきていました。お盆休みのうちの3日間を使ってソフトマットをすべて剥がし、フローリングの状態にしました。そしてパソコンのLANケーブルも全て無くして無線LANで接続。呼び出しボタンも新たに無線式のものを購入しました。それが右の写真のものです。ファミリーレストランの呼び出しボタンみたいで気に入っています。無線LANもプリンターやレッスン用PCを含めて10台以上が接続されていますが、特に問題なく動作してくれていて、安心しています。



【パソコンを廃棄する際には】

最近知り合いから、パソコンを買い替えたんだけど、古いパソコンはそのまま廃品回収業者さんに出してよいかと聞かれました。パソコンは資源有効利用促進法でメーカーによる自主回収・リサイクルが義務付けられましたので、基本的に自治体での処分・回収は行われなくなりました。家電店などにお問い合わせすると、1台7000円くらいの費用が必要になります。そこで廃品回収業者などに出されるケースが多くなっています。

しかしパソコンは実は個人情報の塊です。例えばメールソフトにはお友達のお名前やメールアドレス、場合によっては電話番号や住所も入っています。年賀状などで使うはがきソフトの住所録の内容も同じようにお友達の個人情報です。さらにご自身が作られたWordの文書にも色々な個人情報が入っていることは多いですし、もし家計簿をExcelで管理しているとしたらご自身の経済状況も丸見えになってしまうかもしれません。またデジカメの写真やビデオなどをパソコンに保存しているとしたら、デジカメのデータは写真だけでなく、撮影した日時や撮影した場所のデータも保存している場合がありますので、ご自宅やお友達の家など撮影した場所の個人情報がわかる場合もあります。

これらの情報は基本的にパソコンのハードディスクに保存されています。これらの情報を残したまま廃棄処分したとすると、悪意のある第三者がハードディスクの情報を読み取って、個人情報を悪用しないとも限りません。そこで今回はパソコンを廃棄する際に保存されている情報＝ハードディスクの取り扱いについてお話させて頂きたいと思います。

個人情報は削除した・リカバリーしたから大丈夫？

ハードディスクに入っていたアドレス帳や住所録、その他のデータを全て削除(もちろんごみ箱からも全て削除)したから大丈夫とっていらっしゃる方は多いと思います。ハードディスクにデータを保存する際には、実は2つの情報を別々の場所に保存します。一つはデータそのものの保存です。そしてもう一つは、そのデータをハードディスクのどこに何と言う名前でも保存したかという情報を保存します。ハードディスクから情報を削除する際には、このどこに何と言う名前でも保存したかのデータを削除するだけで、データそのものはハードディスクに残ったままになっています。この後別のファイルを保存するなどして、データを保存していた領域に新しいデータを何回か上書きすることによって、データは見えなくなるのです。ですからただ単にデータを削除しただけでは、元のデータは残ったままで、特殊なソフトを使うと削除したデータを見ることができるようになるのです。

では、ハードディスクを一度フォーマットして、リカバリーしたら安全なのでしょうか？実はこの場合も上書きされなかった部分のデータはそのまま残っていることとなります。ですからこれも削除した場合と同じで、残っているデータを読み取ることは可能なのです。

では上書きされた部分のデータは大丈夫なのでしょうか？ハードディスクは磁気ディスクです。1回データを上書きされてもその前のデータの痕跡(残留磁気)は残っているそうです。したがって1回上書きされた程度では、特殊な機器を使えば前のデータを復元することは可能なのです。アメリカの国家安全保障局(NSA)や陸軍・海軍・国防総省では安全にハードディスクを廃棄するためには、3回様々なデータ(意味を持たない乱数や特定の値)を上書きすることになっています。

今回はパソコンを廃棄する際のハードディスクの危険性についてお話させて頂きました。次回は廃棄する際には実際どのようにしたら良いかをお話させて頂きます。



ハロー!パソコン教室 富雄校

〒631-0076 奈良市富雄北1丁目12-4 アゴラハイム1F

TEL (0742) 46-4186 (ヨイハロー)

e-mail : info@hello-pc.co.jp

URL : http://www.hello-pc.co.jp/

「チョイ悪親父のボランティア日記」その28

山田穂積

～ 出会いがあり、そして一区切り ～

二回ほど、お休みをしてしまいました。すいません。いやあ、やめてしまったかな？と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、実は、政治家さんの応援で佐賀県にいておまして、そのあとは、恒例のサマーキャンプスタッフにいたり、母の一周忌の法事を済ませたり、三人目の孫が生まれたり、かなりのてんてこ舞いでした。その忙しさにかまけて、二回もパスすることになってしまいました。申し訳ありません。

支えていた政治家さんも、住民票と本籍を佐賀県に移すことになり、8月末に実施した後援会の臨時総会で生駒とお別れになりました。今回は、そのお話を。ボランティアというのは“時間”だというお話です。

□■1 第二の人生に向けて「人生巡業の旅」カード

人生巡業の旅
<p>会社生活、長いようで短かった35年。まもなく、晴れて卒業です！ そこで、「人生巡業の旅」と題して、最後の一年間をかけて、会社に入ってからお世話になった皆さんとお会いしたい、そして、私を皆さんの目から見ていただくことで、還暦に向けて自分の人生を見直してみたいと思いました。</p> <p>また、よく第二の人生といいますが、私にとってどんな第二の人生がふさわしいのか、その期待をお聞かせいただきたいです。</p>
<p>★あなたのいいところ、そしてこんなことを期待します！</p> <p>ここは、できれば長所をどうぞお書きいただければ、そして、第二の人生に向けてこんなことをやれよ！</p> <p>と、アドバイスをお願いします。</p>
<p>★ここに気をつけて！</p> <p>この欄は、ここに気をつけないといい人生が歩めないよ！</p> <p>と、ご指摘ください。</p>

以前、2年前に政治について取り上げたことがあります。これほどまで深くお手伝いをするきっかけをお話したいと思います。60歳で定年を迎え、お世話になった方々、周囲の方々にお願いをしました。題して「人生巡業の旅カード」。

メッセージは、「会社生活、長いようで短かった35年。まもなく、晴れて卒業です！そこで、“人生巡業の旅”と題して、最後の一年間をかけて、会社に入ってからお世話になった皆さんとお会いしたい、そして、私を皆さんの目から見ていただくことで、還暦に向けて自分の人生を見直してみたいと思いました。また、よく第二の人生といいますが、私にとってどんな第二の人生がふさわしいのか、その期待をお聞かせいただきたいです。」 ★あなたのいいところ、そしてこんなことを期待します！ ★ここに気をつけて！をお聞かせください。」 そんなカードを配りました。

□■2 その時のきっかけで、5年間のボランティア活動が始まった。

いろいろな方から、メッセージをいただきました。みんな優しい人たちですね。いいことばかり。でも、一番に考えたのはどれだけ早くメッセージを返してくれるかでした。人に平等に与えられているものに、“時間”というものがあります。だから、人のために時間を使うこと。これは、あなたのことを大切に思っていますというメッセージだと思うのです。私が、自分の第二の人生をどうするかと考えたときに、私のために自分の時間を割いて行動してくれた人を応援しようとひそかに思っていました。

そう、私が応援した政治家さんは、その対応が早かったのです。結果、第二の人生の自分の時間・貢献の時間のなかで、貢献の時間を半分以上占めるようになった政治活動は、こんなきっかけでスタートしたのです。

□■3 二回の選挙

前回の政治の話の時は、政治家個人の話は深くできなかったのですが、実はまじめな政治家ほど、まさに“人生をかけたボランティア活動”なのです。

普通、議員一人に年間一億円ほどかかっているといえます。かかりすぎ〜と思いますよね。でも、国会議員にもなると、秘書は6〜7人は当たり前。おそらく、資金力のある議員は10人以上の秘書を抱えているでしょう。その人件費の大半を自分の歳費から賄わなくてはなりません。ですから、なぜ資金パーティをするかという、政治活動にそれだけのお金がかかるというわけです。でも、落選者や、立候補しようとする普通の人はそんなお金はありません。秘書ゼロで政治活動をするのです。10年間も国会議員をしても、まじめな議員ほどお金なんかありません。応援しようと心に決めた私は、週に何回か事務所に通うことになりました。結果、二回の選挙を経験することになってしまいました。



2014年の衆議院選挙は悲惨でした。秘書ゼロ、選挙経験ゼロの私が秘書6人分の仕事を一手に引き受けることになったのです。人生で初めて、頭が熱くなるという経験をしました。次から次に片づけなければならないことが山のように押し寄せてくるのです。

二回目は、今年の佐賀での選挙でした。支援していた政治家さんが公認候補として、急きょ佐賀から出馬することになったのです。なんと、応援にいった私が大きく新聞に取り上げられました。友達からは、「ついに出るか!」とか「やっぱり!」というようなメッセージをもらいました。もちろん、選挙には出ませんよ〜。公平を期するため、候補者の写真を使えなかったためだと思うのですが…。

□■4 そして一区切り …… 次は何を…?

ということで、応援をしていた政治家さんは佐賀へ行ってしまいました。今まで、週に二日。人生の巡業カードから始まった縁は、ここで一区切りがつきます。

今まで、ボランティアについていろいろな人たちやいろいろな活動をご紹介してきました。会社活動では、効率や経済性、利益などを求められます。ボランティア活動はその対極で、非効率で経済的ではなく、利益も出ないというのが当たり前の世界です。

じゃあ、なんでボランティア活動をするの? と問われると、間違いないのは人のためではないということです。もちろん、その活動で助かる方もあり、感謝されることも多いと思います。でも、人のためと思っていると続かないのではないのでしょうか。やはり、自分の人生、どう生きるかということだと思ふのです。誰にでも時間は平等に与えられています。今世の人生、どんな時間の使い方をするか。それにより、人生が豊かなものになるのか、どうかが決まってくるように思います。利他的行動は、人間のみに与えられた行動です。それは、自分の“時間”を他の人のために使うということです。ボランティア活動は、このような活動ではないのでしょうか? さてさて、私は次は何に時間をさきましょうか? (笑い)

アレルギーの診察室から 61

— ありがとう —

土居 悟

東北出身の言語学者が関西にきて驚いたことの1つに「ありがとう」という言葉の使い方があります。東北大学出身の小林隆さんと澤村美幸さんが書いた『ものの言い方西東』（岩波新書、2014）を読みますと、貸したお金を返してもらった時に、相手に「ありがとう」と言うかどうかについて書いてありました。東北の人にとっては、「そんなばかな、自分のお金が戻ってきただけではないかと思ってしまうが、関西の学生に聞いたところでは、貸したお金や品物が帰ってくる時にもありがとうと言うのだ。」と驚きました。お店で買い物をして、お店を出るときに「ありがとう」と言う人の割合を都道府県別に示していましたが、関西のほうが東北に比べてずっと多いという結果でした。この本の著者は、店の品物を買ってあげたのに、なぜ客のこちらがお礼を言わなければいけないのかと考えてしまいがちだと書いています。相手との関係を判断し、立場上お礼を言う必要がない場合には「ありがとう」とは言わないというのが東日本流の考え方なのでしょうか。関西では、立場はどうあれ、そこで何かをしてもらったことに対して「ありがとう」と言います。感謝ということもありますが、相手への気遣いや配慮を言葉にして示しているとも理解できそうです。

以前、ロンドンで暮らしていた時を思い出してみると、お店で買い物をした時に、店員さんは「サンキュー」といって品物を渡しますが、お客さんも品物を受け取って「サンキュー」と言っていました。状況からは、品物を渡しました、受け取りましたという確認の言葉でもあるかなと感じていました。

別の機会ですが、ミュンヘンに行った時、レストランに入ると店員さんが「グリュースゴット」（こんにちは）と言ってくれたので、こちらも「グリュースゴット」と返しました。挨拶が「ゲーテンターク」（こんにちは）ではなく「グリュースゴット」という言い方に、南ドイツに来たのだなあ実感しました。タクシーに乗った時も、運転手さんがまず「グリュースゴット」と挨拶してくれましたので、こちらもまず挨拶を返してから行先を告げました。しかしながら、まず挨拶をかわすというのも、万国共通ではなさそうです。

この本には「おはよう」と言わない地域の全国地図もついています。「おはよう」と声をかけたら「おはよう」と返すのは、全国共通ではありません。横浜の介護士さんが東北で活動したら、「避難所で活動しているが、こちらがおはようございますと声をかけても、地元の人はおはようと返してくれない。ずいぶん違う土地に来たんだなと思った」そうです。神戸から行った人は「回りくどい言い方をせず、ぱっぱと単刀直入に話す」という印象をもちました。決まり事としての挨拶の型が存在するかどうかですが、東北よりも関西のほうがより整っているようです。

朝日新聞 2016 年 8 月 24 日夕刊の「まだまだ勝手に関西遺産」の見出しは「行けたら行く ほんまに来るとは・・・」でした。大阪生まれの 43 歳の男性が飲み会の幹事を務めたときに、手違いで仲の悪い A さんと B さんの両方に声をかけてしまったそうです。A さんは「行く」、B さんは「行けたら行く」という返事でした。男性は B さんが来ないものだと思ってホットしていたら、なんと B さんが来たので、B さんの席は用意していなかったし、A さんは不機嫌になるしで、飲み会の運営でえらい目にあいましたという記事が載っていました。大阪と東京の人に質問すると、大阪の 60 代の男性は「行けたら行く」は「行く確率 10%で、他の用事はないけど、行きたくない時に使う」と答えました。一方、東京の 70 代の女性は「行く確率 80%で、せっかく誘ってくれたから、他に用事があっても都合をつけて行こうと思った時に言う」そうです。関西では、あからさまに相手を傷つける言い方はしないという配慮が発達しています。しかし、この関西が培ってきた人間関係の発想が若い世代には伝わっていないのではないかと書いてありました。表現の裏にある意図を読むことや、人間関係の結びつきを残したいという気持ちは 1 つの文化ですので、他の文化を尊重することは、自らの文化を意識することから始まると思いました。

ドイツだより 120

新田 イエルマー 淑子

夏休みの里帰り、今年は少し遅くなって8月23日に一人で帰国しました。

翌24日、久しぶりに元興寺の地藏盆に母と11歳の姪と3人で出かけました。今年85歳になる母も確実に衰えて（ボケはじめ？）はいますがおかげさまでどこも悪いところもなく、よちよちではありますがまだ一人で出かけたりもできます。

それにしてもこの猛暑の奈良に外国人観光客の多いこと!! 機嫌よく歩いていた母ですがもちいどの通りを出る頃に「いっぺん休けいしたいワー」というので、目的地を目の前にしつつも、しもみかど通りのちょっとオシャレなCaféで一服。お寺に着いたのは4時過ぎで、まんぷく供養と名打って出ている屋台も片付けが始まっていました。「やー、みたらし団子たべたかったワー」とのたまう母。

粘土を型にはめてトントンと勢いよくたたいて簡単に作る「かわらけ」に祈願供養の内容、名前を書いて灯芯と灯油をいただき、境内の浮図田（ふとでん）に居並ぶお地藏さんの前に好き好きにそなえます。5時からの極楽堂での奉納供養のお経に参座。お坊様が10人ほどいらしたでしょうか、30分近い読経の声に“瞑想”の境地。その後堂内に展示された著名人の書や絵の描かれた灯籠を鑑賞して、薄暮にゆれる浮図田のお灯明をながめ、禅堂の縁側で奏されるお琴の音をあとに帰途につきました。

ところで相変わらず物騒な世の中ですが、7月22日にはミュンヘン市内で銃撃事件があり、いよいよテロの波が！と危ぶまれましたが、実際は宗教政治とは関係ない単独行動で、19歳の精神を病んだ青年の仕業でした。インターネットで偽情報があつという間に広がり、町中パニックで、ものすごい騒ぎだったということです。私は幸いにも前日から遠出しており、翌日になってからニュースを知ったくらいです。この犯人も子供の時に両親とドイツに亡命してきた背景をもち、ドイツ社会にとけこめず、イジメなどにあつて落ちこぼれ、「復讐」が動機だったと言われています。昨日今日の新聞にも夏休み明けの9月1日に子どもたちの自殺が増えると書かれ、その矢先に青森県の中学生2人がスマホに遺書のような文を残して命を絶ったニュースがありました。イジメをする方も、されて逃げ道がなくなって追いつめられる方も、学校や今生きているせまい社会で、物質主義・知性主義・科学万能・経済最優先の価値観しか見えないために、魂をもつ一人ひとりの人間の尊さが何度叫ばれても深いところで把握、実感できないのですね。

あの障害者施設をおそつて大量殺人を犯した青年も、どうしてあんな残虐なことができるのかと思ってしまうけれど、社会が人間の優劣を目に見える形でしか（身体的、知性による遂行達成、社会への貢献）判断できないと、ドイツでナチ時代に実際に行使された、障害者や病弱、精神病患者がセレクトされて Euthanasie という健常者による「弱者へのあわれみとしての安楽死」を正当化する制度ができたりのです。

R・シュタイナーの講演集「内面への旅」（高橋巖訳、筑摩書房）の中の「自然界における全体と部分」という節で、ダーウィンの「生存競争」という自然の原理は感覚の世界だけを観察したもので、認識の一部に過ぎないのだ、とっています。詳細は書けませんが、「全体に目を向ける時にのみ個々の存在の使命がわかるのだ。外（感覚世界）に立って知性を働かせる人は自分の感覚を通して見ることの出来る目標へ向かっているものだけが有意義な生き方をしていると信じています。先入見なしに自然に目を向ければどの生物のどの段階においても完全なものが見えます。その完全性は、ある存在になる時に現れるのではなく、今ある存在の中であることの中に現れるのです。」

あとがき

◇ あわわ・・・これはヤバイ。人間ドックの結果封筒を開けてびっくり。お医者知らず（脱臼とか骨折とか外科は別として）の私、多分悪いとこなんか一つもないよ、と豪語していたというのに、ショックです。肝機能の数値が良くないなんてありえない。栄養バランス満点の食事をきっちり摂ってるし。これはもしかして休肝日を作れということか？

◇ 7～8月はぐくみセンターのパネル展示、ポスターに夏らしい折り紙をいっぱいつけました。ひまわり、あさがお、イルカやキラキラの星たち…ご覧になった方たちの評判がとっても良かったとか。感想では活動の内容に関するものより、折り紙が…って。うーん微妙。



◇ 初めて宇陀市へ出張。野超え山越え…奈良県は広い！市内の特別支援学級の生徒や保護者たちの交歓会という夏休みのイベントでした。豊かな自然に囲まれた施設で歌ったり太鼓を叩いたり音楽レクリエーションでしたが、皆お行儀が良すぎてなかなか乗ってこない。後半になって調子が出てきた頃に取り出したパラバルーン、今度はテンション上がりすぎてバルーンが引きちぎれるかとヒヤヒヤでした。



◇ 10年ぶりくらいでしょうか、生駒市真弓南自治会の夏祭りにお招き頂き、アゴラ太鼓演奏してまいりました。高校のブラスバンドや近隣の方々のパフォーマンスも次々と披露され、小紫市長や市議の福中さんはじめたくさんの方で賑わっているなかでの演奏、皆ちょっと緊張しました～。



屋外での演奏は音が散ってしまうので全体の音がまとまりにくいというのが難しいところです。

◇ 30年ほど前、息子も娘もベビーカーに乗ってここで公園デビュー。用があつて昔子どもたちがよく遊んでいた住宅地の中にある公園の横を何年ぶりかで通りがかりました。毎日のように近所の子どもたちと滑り台や砂遊びをした思い出いっぱいの懐かしい公園です。今は代替わりして孫たちが遊ぶ年頃でしょうが、木も草も生い茂ってひっそりしていました。



(恵理子)